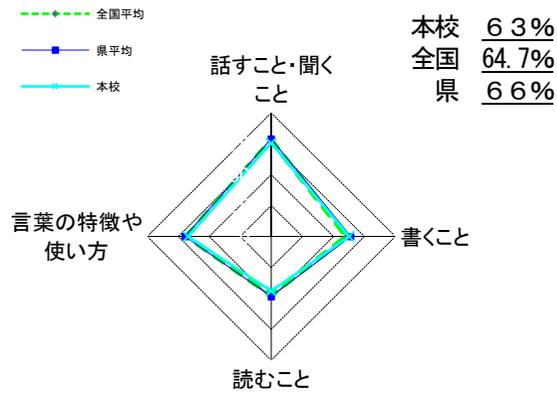


全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題

- 【課題1】 面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く。(設問2三) [第5学年及び第6学年] 思考力, 判断力, 表現力等C 読むこと ウ 条件① a及びbの内, 片方しか満たしていない児童が62.8%であり, 目的に応じ, 文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけて読むことに課題がある。
- 【課題2】 面ファスナーに関する【資料】を読み, 面ファスナーが, 国際宇宙ステーションの中でどの様に使われているのかをまとめて書く。(設問2四) [第3学年及び第4学年] 思考力, 判断力, 表現力等C 読むこと ウ 示された条件① a及びb, 条件②の内, 条件① a及びbの片方あるいは条件②のみしか満たしていない児童が73%であり, 目的を意識して, 中心となる語や文を見つけて要約することに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】・ 条件に沿って, 文章からキーワードや大事な一文など, 必要な情報を見付け, 取捨選択しながら抜き出す練習を, 低学年時から段階を追って練習する活動を取り入れる。
・ 見付けだしたキーワードや大事な一文を手掛かりに, 図表とどのように結び付くのか線でつなぎ合わせたりしながら, 文章を作成するような活動を仕組み, 文章の構成が理解できるよう指導する。
 - 【課題2】・ 説明文や物語文など文章全体の内容を正確に把握するために音読を徹底し行い, その上で, 元の文章の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりしながら, 筆者の主張やあらすじなどをまとめる活動を取り入れる。
・ 目的に応じて, 文章全体から中心となる語や文を見付けて線を引いたり, 付箋等へ書き出したりしながら, 組み合わせ方や全体の分量も考え, まとめる練習を継続して行い, 指導する。
- ※ 小中一貫した取組については、「読むこと」の指導に関して、似た意見をまとめて発言させ、友達のと自分の考えを比べたり、関係付けたりさせる。

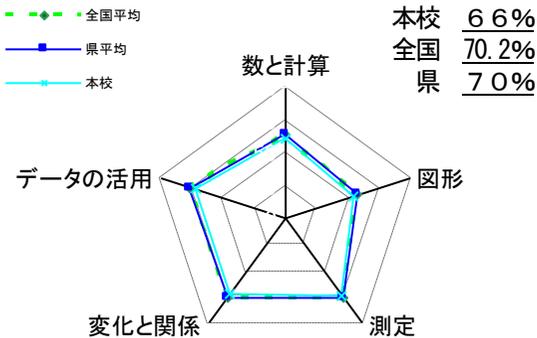
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年生 R1「全国学力」抜粋	5・6年生 学期末テスト	5・6年生 標準学力調査	5年生 R3「全国学力」抜粋	5・6年生 学年末テスト
目標値			70%	75%	70%	70%	80%
実施後数値			80%	63%	66%	64%	72%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年生 R1「全国学力」抜粋	5・6年生 学期末テスト	5・6年生 標準学力調査	5年生 R3「全国学力」抜粋 4年生 課題2の類似問題	5・6年生 学年末テスト
目標値			70%	75%	70%	70%	80%
実施後数値			80%	54%	64%	55%	83%

来年度に向けて

目的に応じた必要な情報を取り出す力を付ける。また、国語科のみならず、他の教科でも書く活動を位置付けて、目的意識をもってまとめ、継続して取り組む。

全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題

- 【課題1】 C変化と関係の領域「速さ」の問題では、県平均正答率と本校との差は、-5.9ポイントであった。立式することは、できているが、速さを求める意味を考えることに課題がある。
- 【課題2】 Dデータの活用の領域「棒グラフ」の問題では、県平均正答率と本校との差は、-4.9ポイントであった。問題文を読んで、題意を適切に把握することに課題である。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- 【課題1】 低学年では、具体的操作から言葉、図、式という流れで自分の考えをまとめる。中学年では、式における数の意味に着目しながら説明をする。高学年では、公式だけを覚えるのではなく、なぜそうなるのか、説明させ、考える授業を低学年から取り組む。
 - 【課題2】 問われていることが何か理解させるために、問われている部分に線を引かせたり、答えにつながるグラフに印をつけさせたりさせる。
- ※ 小中一貫した取組については、「学びのレシピ」を活用し、見通しをもって学習を進める。また、課題に対して自ら考え、他者との交流の中で論理的に説明して伝えることを意識させる。

【課題1】

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1～6年 単元末テスト	6年 R3「全国学力」抜粋	6年 R3「全国学力」抜粋	5年 R3「全国学力」抜粋	5・6年生 学年末テスト
目標値			70%	70%	80%	70%	80%
実施後数値			80%	50%	70%	47%	73%

【課題2】

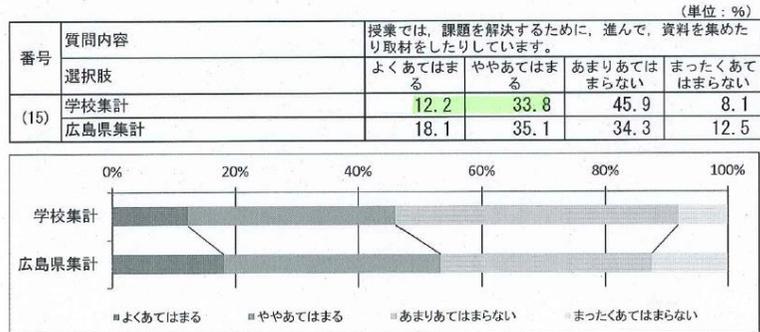
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1～6年 単元末テスト	6年 R3「全国学力」抜粋	6年 R3「全国学力」抜粋	5年 R3「全国学力」抜粋	5・6年生 学年末テスト
目標値			70%	70%	80%	70%	80%
実施後数値			79%	80%	90%	51%	71%

来年度に向けて

基礎的・基本的な知識・技能を習得させていくと共に、児童同士で学び合う授業づくりを行っていく。説明し合う中で、考えを深めたり、考えを表現したりする力を伸ばすようにする。

質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：児童質問紙調査)

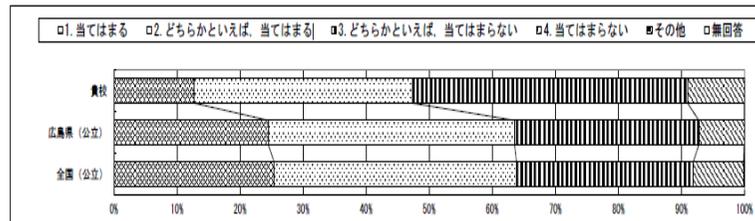
(1) 生活・学習



	児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「児童生徒学習意識調査」の設問(15)「授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材したりしています。」の肯定的回答が46%で、県平均を7.2ポイント下回っている。	総合的な学習の時間や各教科の学習の中で、課題解決のために、どんな過程をとればよいのかを見通しをもたせたり、多面的に資料を集めさせたりする活動を仕組む。また活動のめあてを吟味し、自分たちで課題を解決した実感をもたせる。	5年	70%	児童アンケート調査	2月	89%

(2) 教科

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「全国学力・学習状況調査」の「児童質問紙」質問番号(48)「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。」の肯定的回答が47.4%で、県平均を16.1ポイント下回っている。	国語科を中心に、どの教科でも、自分の考えを話す時間を取る。ここでは形態を工夫し、ペアや少人数で話す時間を十分に取し、自分の考えを話したり質問したりしやすい雰囲気づくりをする。それから全体発表につながるようにする。	6年	70%	児童アンケート調査	2月	60%
全国・学習意識等	「全国学力・学習状況調査」の「児童質問紙」質問番号(56)「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。」の肯定的回答が62.8%で、県平均を11.2ポイント下回っている。	算数科の学習で、日常生活とつながりのある課題を提示する機会を増やす。また、活用・応用問題で、身近な題材を取り入れるなどし、普段の生活の中で算数科で学習したことを生かせるようにする。	6年	75%	児童アンケート調査	2月	65%

算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。

